

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科		理学療法士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名		解剖生理学演習 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		1年		学期及び曜時限	前期	教室名	機能訓練室 他
担 当 教 員		杉原 翔太□ 森脇 薫	実務経験と その関連資 格	杉原:回復期病院で8年間勤務。脳血管疾患を中心に臨床を経験。循環器分野にも携わっていた。サブライセンスとして認知症ケア専門士を取得している。 森脇:整形外科クリニックにて理学療法士として従事。スポーツ分野にも携わる。			
《授業科目における学習内容》							
神経系の基礎知識をもとに、感覚・反射・姿勢制御に関する実験・測定を行い、得られたデータを神経生理学的に考察する。ALを通して、現象と神経機構の関連を理解し、臨床への応用力を養う。							
《成績評価の方法と基準》							
授業内成果物および発表内容を中心に評価							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
配布資料							
《授業外における学習方法》							
解剖学Ⅰ・Ⅱの生理学的思考の復習を行う							
《履修に当たっての留意点》							
実験・グループワークを中心に行うため、積極的に参加し、役割を果たすことが求められる。							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋・骨の触診を通して体の構造のしくみを理解する		配付資料	筋・骨の基礎から体表で触診できるようになる	
		各コマにおける授業予定	上肢帯の骨の触診を行う				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋・骨の触診を通して体の構造のしくみを理解する		配付資料	筋・骨の基礎から体表で触診できるようになる	
		各コマにおける授業予定	上肢帯の筋、靱帯の触診を行う				
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	筋・骨の触診を通して体の構造のしくみを理解する		配付資料	筋・骨の基礎から体表で触診できるようになる	
		各コマにおける授業予定	上肢帯の筋、靱帯の触診を行う				
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	筋・骨の触診を通して体の構造のしくみを理解する		配付資料	筋・骨の基礎から体表で触診できるようになる	
		各コマにおける授業予定	体幹・骨盤の骨の触診を行う				
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	筋・骨の触診を通して体の構造のしくみを理解する		配付資料	筋・骨の基礎から体表で触診できるようになる	
		各コマにおける授業予定	体幹・骨盤の筋の触診を行う				
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	

第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	筋・骨の触診を通して体の構造のしくみを理解する	配付資料	筋・骨の基礎から体表で触診できるようになる
		各コマにおける授業予定	大腿骨・下腿・足部の骨の触診を行う		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	筋・骨の触診を通して体の構造のしくみを理解する	配付資料	筋・骨の基礎から体表で触診できるようになる
		各コマにおける授業予定	大腿骨の筋の触診を行う		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋・骨の触診を通して体の構造のしくみを理解する	配付資料	筋・骨の基礎から体表で触診できるようになる
		各コマにおける授業予定	下腿・足部の筋、靱帯の触診を行う		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	感覚に関する仮説を立て、条件の違いによる感覚変化を実験的に測定する	配付資料	実験内容について調べておく
		各コマにおける授業予定	感覚演習		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	感覚実験の結果を整理し、神経生理学的観点から考察・発表を行う	配付資料	実験内容について調べておく
		各コマにおける授業予定	感覚演習		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	反射に関する仮説を立て、深部腱反射や伸張反射の特性を実験的に検証する	配付資料	実験内容について調べておく
		各コマにおける授業予定	反射演習		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	反射実験の結果を整理し、神経機構(反射弓)との関連を考察・発表する	配付資料	実験内容について調べておく
		各コマにおける授業予定	反射演習		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	姿勢制御に関する仮説を立て、視覚・前庭・体性感覚の影響を実験的に検証する	配付資料	実験内容について調べておく
		各コマにおける授業予定	姿勢制御演習		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	姿勢制御に関する仮説を立て、視覚・前庭・体性感覚の影響を実験的に検証する	配付資料	実験内容について調べておく
		各コマにおける授業予定	姿勢制御演習		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	演習を通した振り返り	配付資料	
		各コマにおける授業予定	総合演習		